

株式会社くふうカンパニー

2020年9月期 連結決算 説明資料

2020.11.12



1. 2020年9月期 連結業績 及び 2021年9月期 連結業績予想
2. 結婚関連事業
3. 不動産関連事業
4. 金融関連事業
5. メディア関連事業



1. 2020年9月期 連結業績 及び 2021年9月期 連結業績予想

グループ構成（2020年11月現在）



- 2020年3月、ふくろう少額短期保険(株)が参画、くふう少額短期保険(株)に商号変更
- 2020年5月、(株)くらしにくふうの位置付けを変更し、グループメディア支援に加えて新規事業領域のメディア開発を推進
- 2020年6月、(株)おうちのアドバイザー から (株)おうちのくふう に商号変更、不動産の買取再販事業を本格始動
- 2020年8月、投資の機動性をさらに高めることを目的に、(株)くふうキャピタルを設立
- 2020年10月、結婚関連事業3社の統合に向けて (株)エニマリを発足

くふうグループ

結婚関連事業



エニマリ
(株)エニマリ

2020年10月1日付で(株)みんなのウェディングと(株)アールキューブを合併し、(株)エニマリに商号を変更。(株)フルスロットルズは、2021年初頭をめどに(株)エニマリへの合併を予定

不動産関連事業



(株)オウチーノ

(株)Seven Signatures International



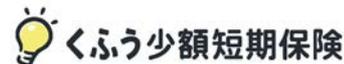
(株)おうちのくふう

金融関連事業



(株)Zaim

(株)保険のくふう



くふう少額短期保険(株)

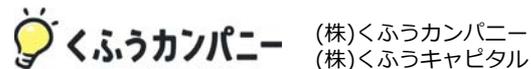
メディア関連事業



(株)くらしにくふう

Da Vinci Studio (株)Da Vinci Studio

支援機能



(株)くふうカンパニー
(株)くふうキャピタル



**2020年9月期の連結業績は、売上高 4,548百万円 (YoY 101.2%)、
営業利益 235百万円 (YoY 87.2%)、EBITDA 510百万円 (YoY 109.8%) で着地**

➤ 結婚関連事業

- ・コロナ禍で3月以降は結婚式の延期・中止に伴い成長が足踏み
- ・戦略を見直し、新しい結婚価値を創出するためのブランド展開や経営リソースの最適化に向けて3社統合を推進

➤ 不動産関連事業

- ・不動産会社向け営業支援ツールサービス「オウチーノ くらすマッチ」の販売拡大が事業領域全体の黒字化に寄与
- ・富裕層向け事業は渡航規制やロックダウン等により米国ハワイ州の事業活動が一時停止、国内へ事業の軸足をシフト
- ・おうちのくふう社による生活者向けの買取再販事業を本格始動

➤ 金融関連事業

- ・家計簿サービスの改正銀行法対応はすべての対象金融機関との接続契約を完了、個人のニーズに合わせ家計を改善する新機能や他社サービス連携を推進
- ・保険サービスはくふう少短社の参画に伴い、取扱保険商品の収益性改善やオンライン販売の強化に向けた体制整備を実施

➤ メディア関連事業

- ・暮らし情報メディア「ヨムーノ」が牽引してグループメディアの利用者数は堅調に推移
- ・コロナ禍による社会変化に応じた新メディア開発や各グループメディア支援を強化

2020年9月期 連結業績 及び 2021年9月期 連結業績予想



2021年9月期は売上高 60億円、営業利益 3億円、EBITDA 6億円の着地を見込む

(単位:百万円)	19/9期	20/9期				21/9期	
	実績	業績予想	実績	前期比	達成率	業績予想	前期比
売上高	4,493	4,500	4,548	101.2%	101.1%	6,000	131.9%
営業利益	270	200	235	87.2%	117.8%	300	127.3%
EBITDA	464	470	510	109.8%	108.5%	600	117.6%

新たに株式会社キッズスターが参画



370万のファミリーが利用する社会体験アプリ「ごっこランド」を軸に、ファミリー向けデジタルコンテンツ事業を展開する「株式会社キッズスター」がグループに参画

kids star

株式会社キッズスター
(設立：2014年10月20日)

主要サービス「ごっこランド」

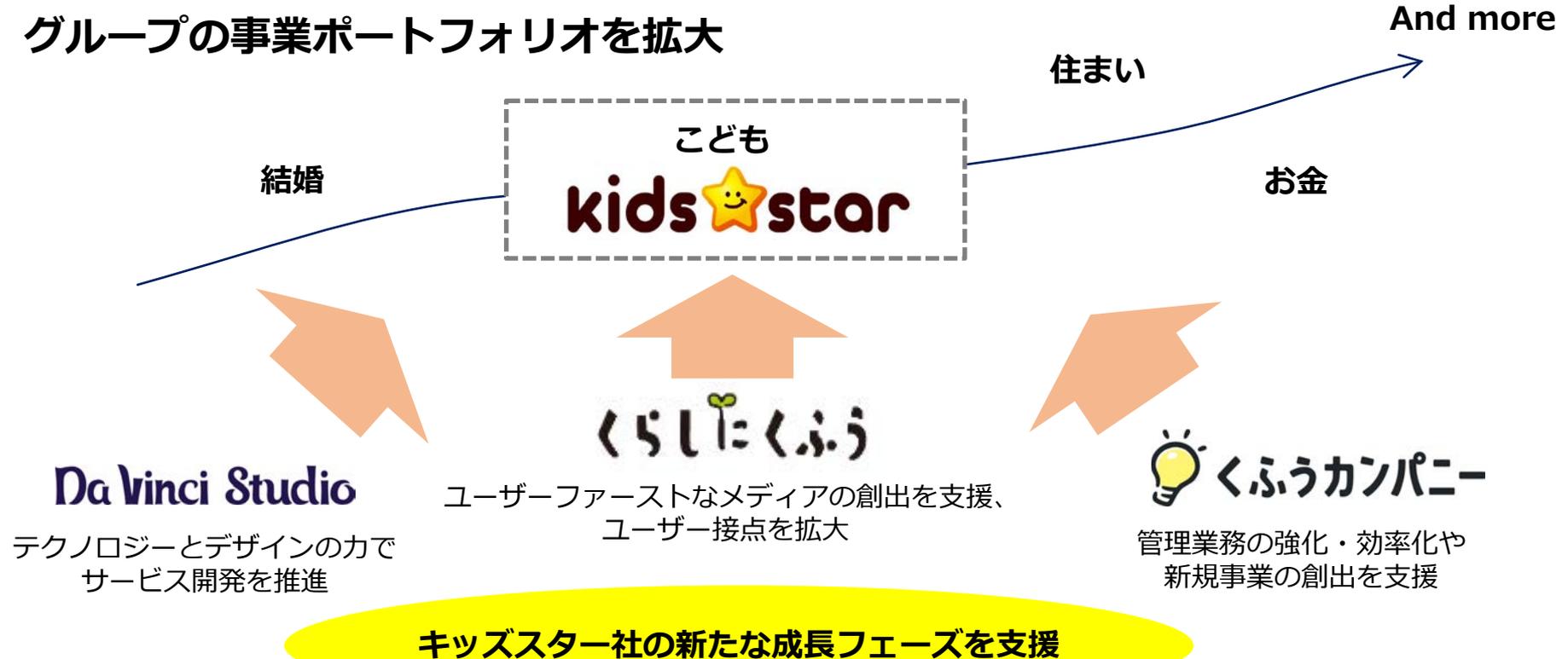


- 手のひらで、子どもと社会がつながる「社会体験（ごっこ遊び）」アプリ
- 無料で良質なコンテンツが支持され370万のファミリーがダウンロード
- App StoreやGoogle Playの「子ども向け」カテゴリの人気ランキング上位を長期にわたり保持
- 業界を代表する企業40社以上がファミリー向けマーケティング・ブランディング施策の一環として体験パビリオンを出展

新たに「こども関連事業」へ進出



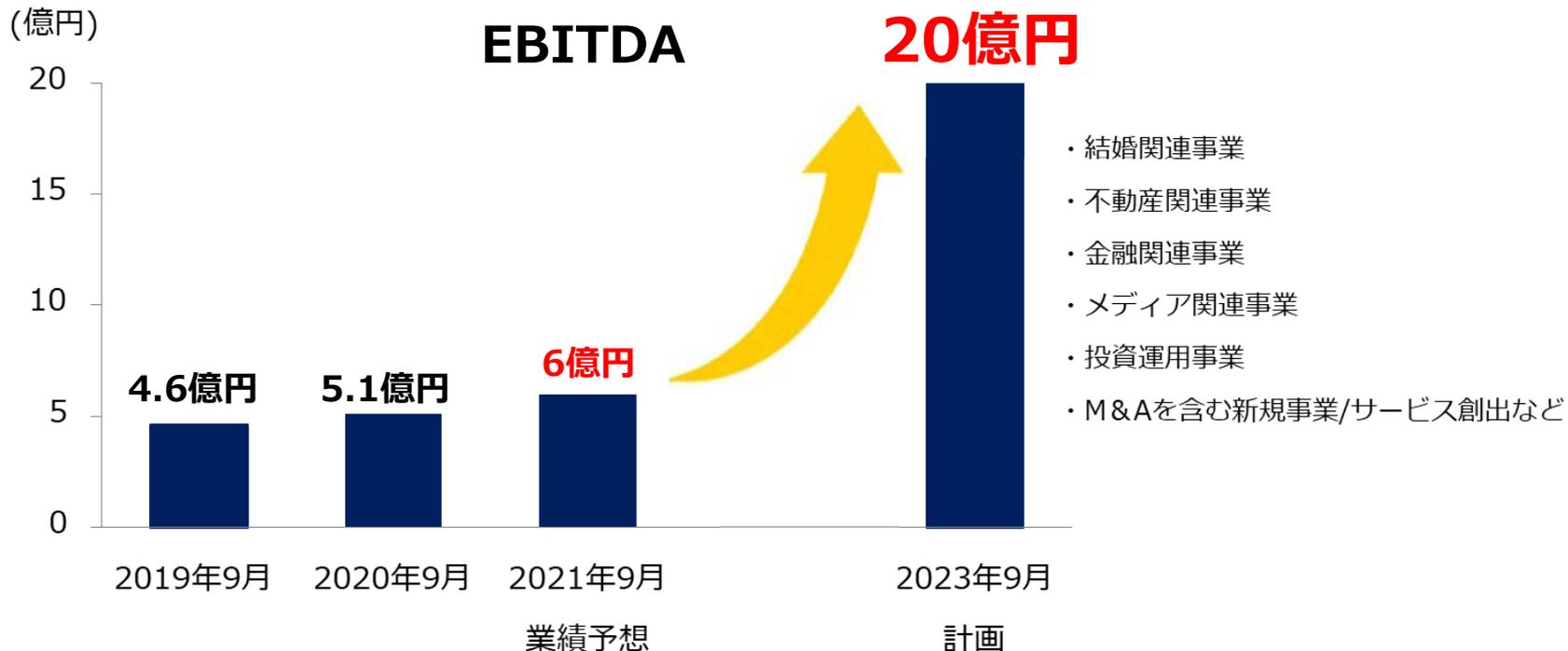
株式会社キッズスターの参画に伴い「こども関連事業」へ進出、
グループの事業ポートフォリオを拡大



中期の経営定量目標



コロナ禍に伴う戦略変更により、従来の中期経営計画は2年先送りするも、
早期に成長軌道に乗せ、2023年9月期にEBITDA 20億円* を目指す



* 2020年11月12日付での新株予約権 (有償ストック・オプション) 発行決議に伴い、目標EBITDA金額に株式報酬費用を考慮

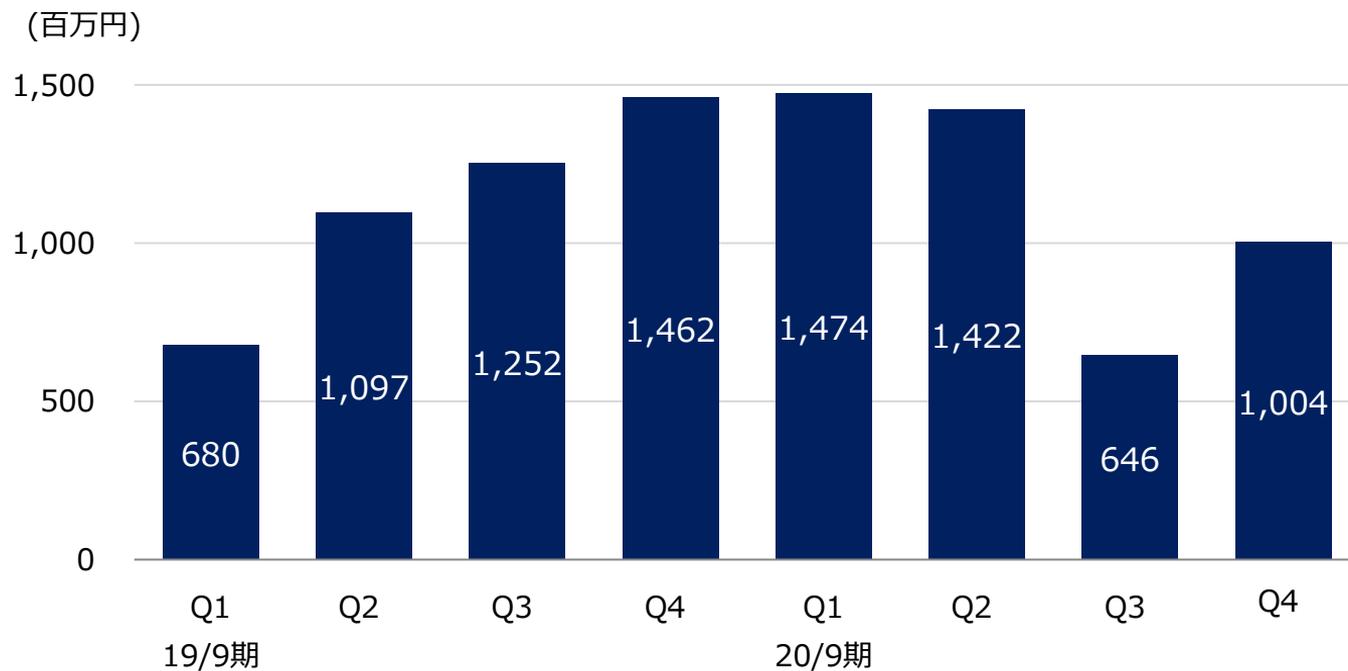
連結業績 PL (四半期)

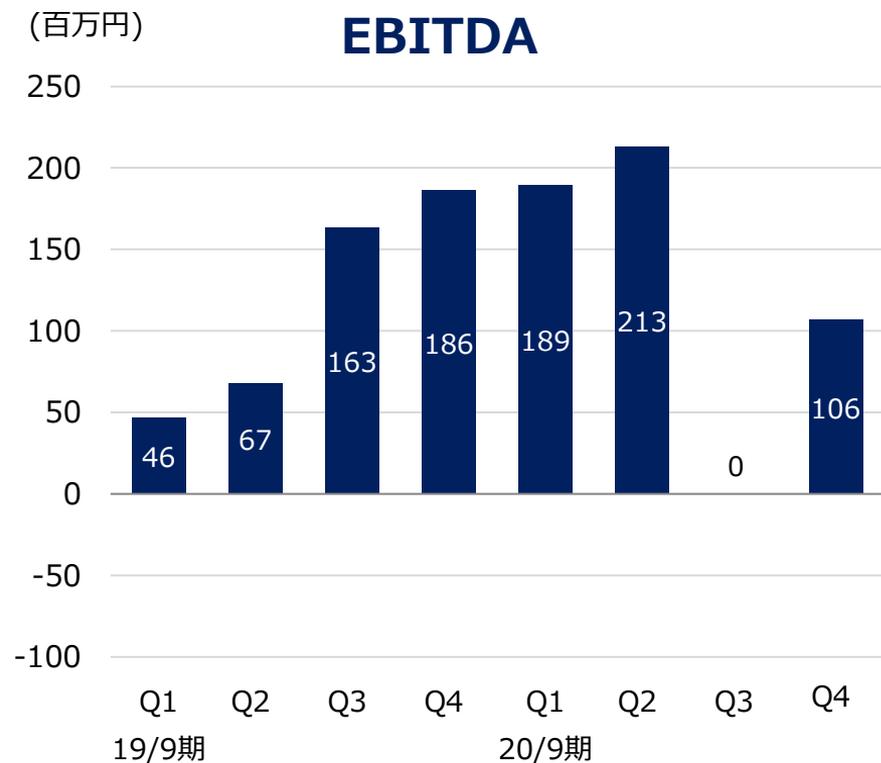
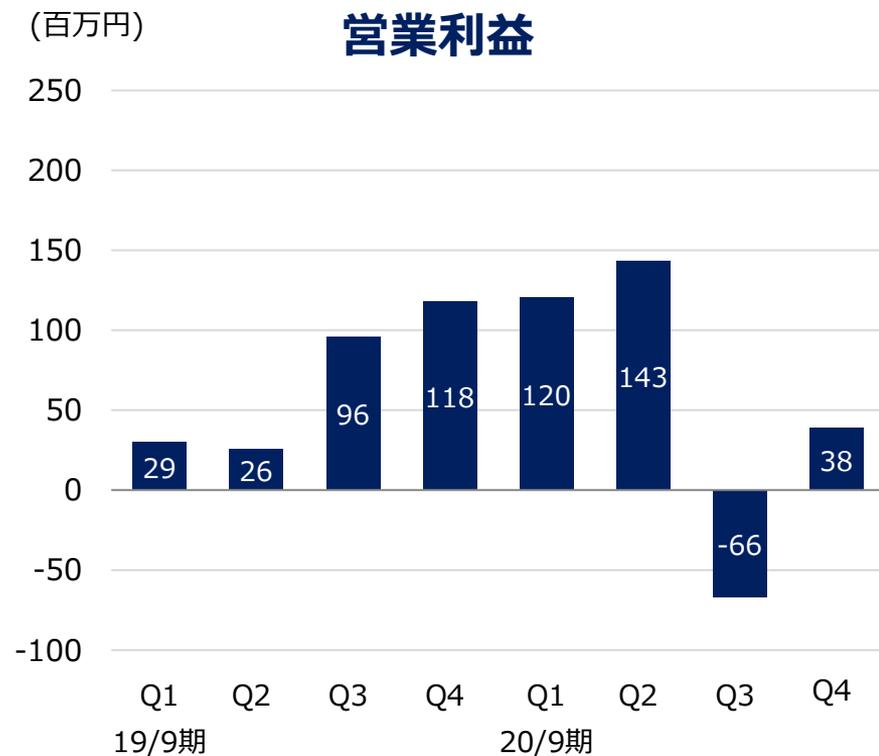


前四半期比で売上高は増収、営業利益は黒字確保

(単位:百万円)	19/9期				20/9期					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	前四半期比	前年同四半期比
売上高	680	1,097	1,252	1,462	1,474	1,422	646	1,004	155.5%	68.7%
営業利益	29	26	96	118	120	143	△66	38	-	32.7%
EBITDA	46	67	163	186	189	213	0	106	-	57.3%

連結業績 売上高推移





連結業績 セグメント別 売上高（四半期）



- 主要2事業の結婚関連事業、不動産関連事業は前四半期比増収
- 調整額にくふうカンパニー社の投資事業収益を計上

(単位:百万円)		19/9期		20/9期							
		Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	前四半期比	前年同四半期比	通期	前期比
売上高	結婚関連事業	1,146	3,375	1,149	1,046	318	342	107.5%	29.9%	2,856	84.6%
	不動産関連事業	180	914	200	216	136	165	121.2%	91.6%	719	78.6%
	その他	142	218	132	165	204	207	101.5%	145.2%	708	324.1%
	調整額	△7	△15	△7	△5	△12	289	-	-	263	-

連結業績 セグメント別 営業利益・EBITDA (四半期)



- 結婚関連事業は赤字縮小、不動産関連事業は買取再販事業立上げに伴う費用約30百万円計上に伴い減益
- 調整額はくふうカンパニー社の投資事業収益計上に伴う利益を計上

(単位:百万円)		19/9期		20/9期							
		Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	前四半期比	前年同四半期比	通期	前期比
営業利益	結婚関連事業	184	602	204	191	△30	△15	-	-	350	58.2%
	不動産関連事業	8	△80	25	26	15	8	58.4%	109.2%	75	-
	その他	12	△13	△14	16	28	3	14.0%	30.4%	34	-
	調整額	△87	△238	△95	△91	△79	41	-	-	△224	-
EBITDA	結婚関連事業	197	648	217	204	△17	△3	-	-	399	61.7%
	不動産関連事業	10	△69	27	28	18	12	68.3%	117.6%	87	-
	その他	16	△6	△9	21	32	9	29.3%	58.2%	54	-
	調整額	△38	△107	△45	△41	△33	88	-	-	△31	-

連結業績 BS



(単位:百万円)		2019年9月末	2020年9月末	増減額	増減要因
		流動資産	2,631	3,272	+641
(現金及び預金)	1,970	1,989	+18		
(販売用不動産)	124	737	+612		
固定資産	3,211	3,101	△109		
(のれん)	2,738	2,492	△246		
資産	5,842	6,374	+532	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響による事業活動の一時的な抑制により、買掛金が174百万円減少 ・短期借入金及び長期借入金が1,182百万円増加 ・フルスロットルズ社株式の追加取得等により、資本剰余金354百万円減少 	
負債	959	1,943	+983		
(買掛金)	226	52	△174		
(短期借入金及び長期借入金)	182	1,364	+1,182		
純資産	4,882	4,431	△451		
(資本剰余金)	4,668	4,314	△354		
負債及び純資産	5,842	6,374	+532		

* () で記載している項目の金額は内書を表示



2. 結婚関連事業



3社統合に向けて施設の共同利用や人件費削減など経営リソースの最適化を実施、 コロナ禍で生じた新たなニーズに応える結婚サービスを積極開発

メディア

- ・コロナ禍に起因して有料掲載式場数が減少する一方、式場向けマーケティング支援サービスの開発に注力
- ・サイト利用者数は低調が続くも、結婚周辺を含むコンテンツ開発を強化

結婚式プロデュースサービス

- ・足元で結婚式の受注及び開催は生じていたものの、依然として厳しい状況が継続
- ・新たな結婚サービスの開発を複数同時に進行、10月より『エニマリ』ブランドで順次リリース

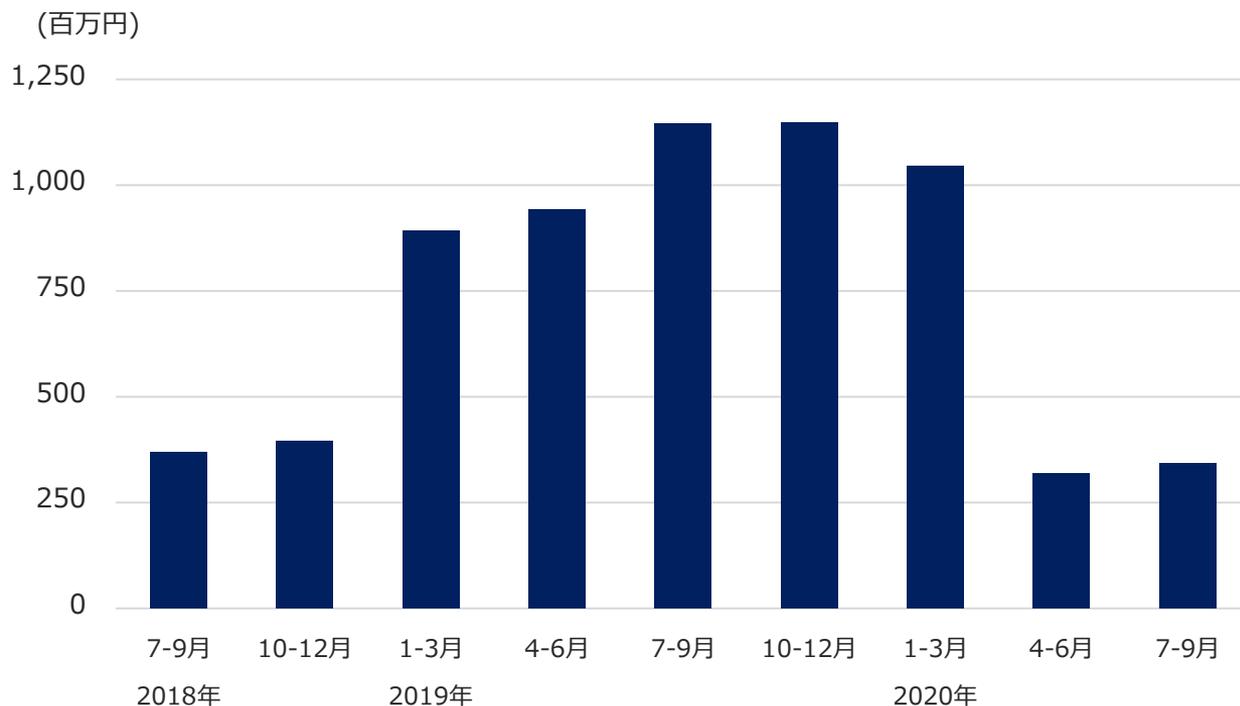
ドレス販売

- ・百貨店催事の開催数は平常に戻りつつあるも、客足はコロナ禍前の5割程度の水準にとどまる
- ・販売2店舗をアールキューブの表参道サロンへ集約、プロデュースサービスと衣装のセット提案を可能に

結婚関連事業 売上高推移

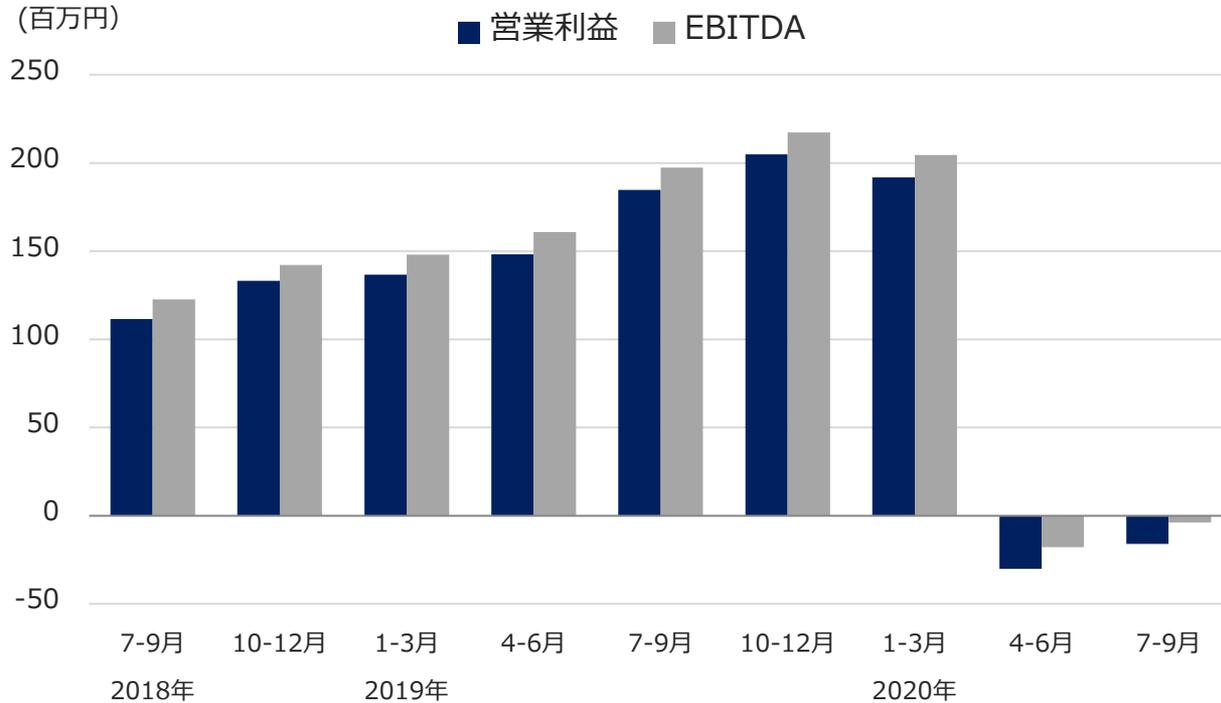


メディアと結婚式プロデュースサービスは厳しい状況が継続、
ドレス販売は移転に伴うセールや催事の再開等による売上を計上





ドレス販売の売上計上やコスト削減により、赤字幅縮小





ウィズ/アフターコロナ時代の新しい結婚価値を創出するためのブランド展開
に向けて、10月1日付で（株）エニマリを発足*

- 経営リソースの最適化により、10月より継続的に利益を創出できる体制を構築
- メディアとサービスの2機能の融合により開発スピードが飛躍的に改善、
新体制の下で5サービス、12プランを新たにリリース、3サービスを開発中（11月12日現在）

エニマリ

* 2020年10月1日付で(株)みんなのウェディングと(株)アールキューブを合併し、(株)エニマリに商号を変更。
(株)フルスロットルズは、2021年初頭をめどに(株)エニマリへの合併を予定。

結婚関連事業 エニマリのサービス展開



結婚にまつわる様々なシーンで、お祝いし合える新たなサービスを開発

プロポーズ	婚約指輪	顔合わせ	結納	入籍	結婚報告	結婚指輪	エンゲージメントフォト	前撮り	食事会	挙式	披露宴	ギフト	ハネムーン
-------	------	------	----	----	------	------	-------------	-----	-----	----	-----	-----	-------

(12月リリース予定)
新サービス



10/07 エニマリの婚姻届



7/21 オンライン結婚報告



10/02 思い出巡るフォト



7/30 チャペルフォト



10/01 スタイルングフォト



9/30 ハイブランドドレスフォト



オンライン+フォト



6/25 ふたり挙式



会費婚



11/11 少人数結婚式



オンライン+ホームパーティー



オンライン+挙式

*日付はサービスリリース日を表示



3. 不動産関連事業



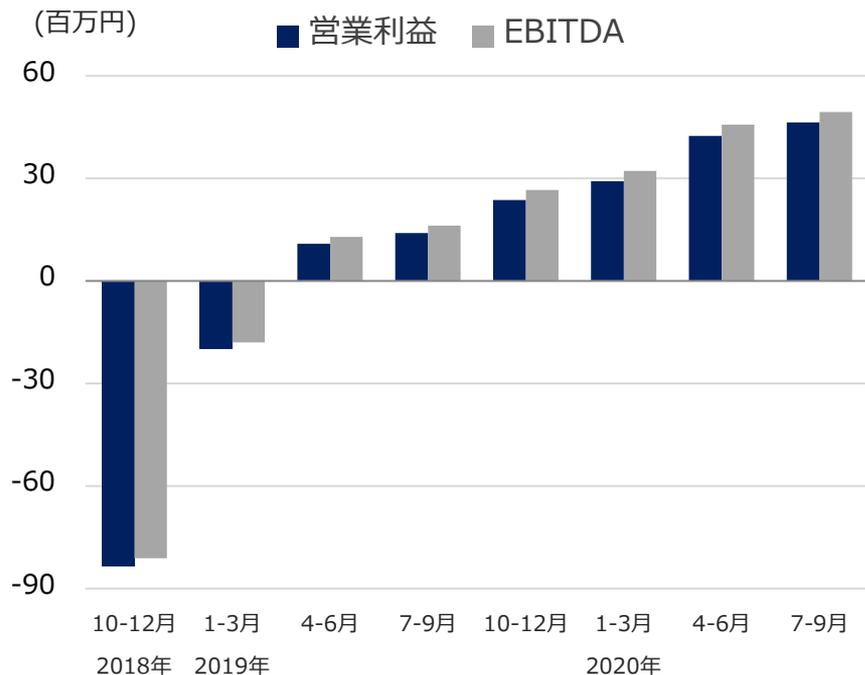
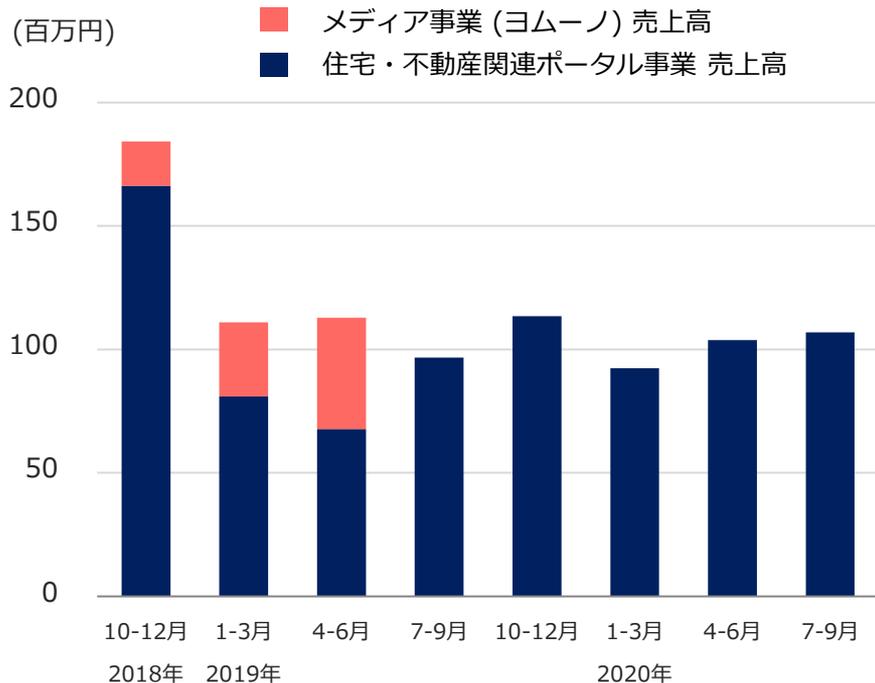
買取再販事業始動に伴う費用を計上するも、不動産会社向けツールサービスの販売拡大と富裕層向け事業の赤字幅縮小により、事業領域全体では黒字を継続

- 不動産会社向け営業支援ツールサービス「オウチーノ くらすマッチ」は災害等のハザードマップ情報を追加するなど機能強化に注力、非接触・非対面で物件周辺情報を提供できるツールとして販売拡大
- 富裕層向け事業は、米国ハワイ州現地の取引は一部再開するも渡航規制等による事業への影響は継続、国内では軽井沢を軸にワーケーション需要を捉えた物件の販売プロジェクトに注力
- おうちのくふう社の買取再販事業の始動に伴い販売用物件の仕入れを実施、当四半期は先行して費用のみ計上

不動産関連事業（オウチーノ社） 業績推移



「オウチーノ くらすマッチ」の販売伸長やコスト削減等の継続により増益

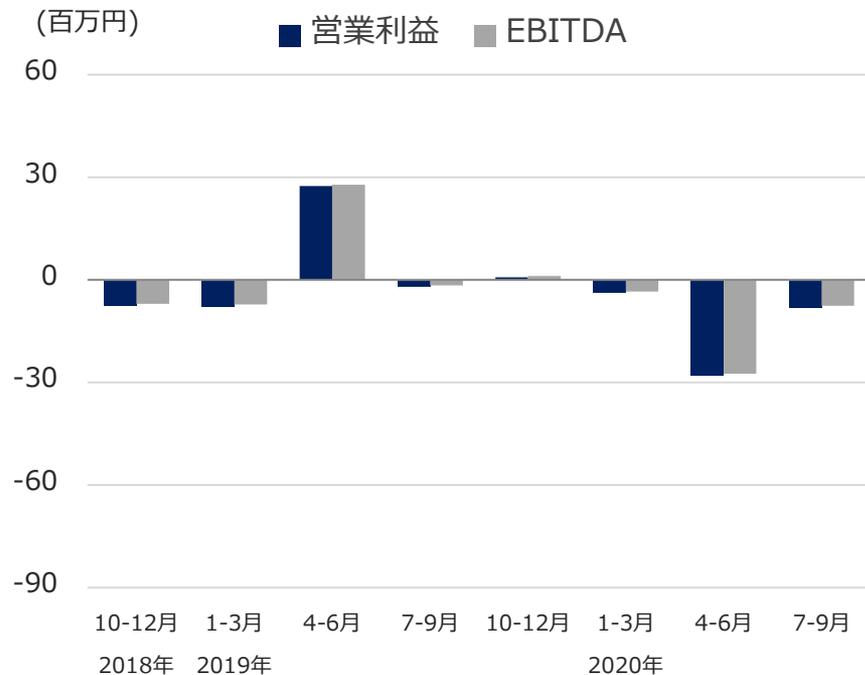
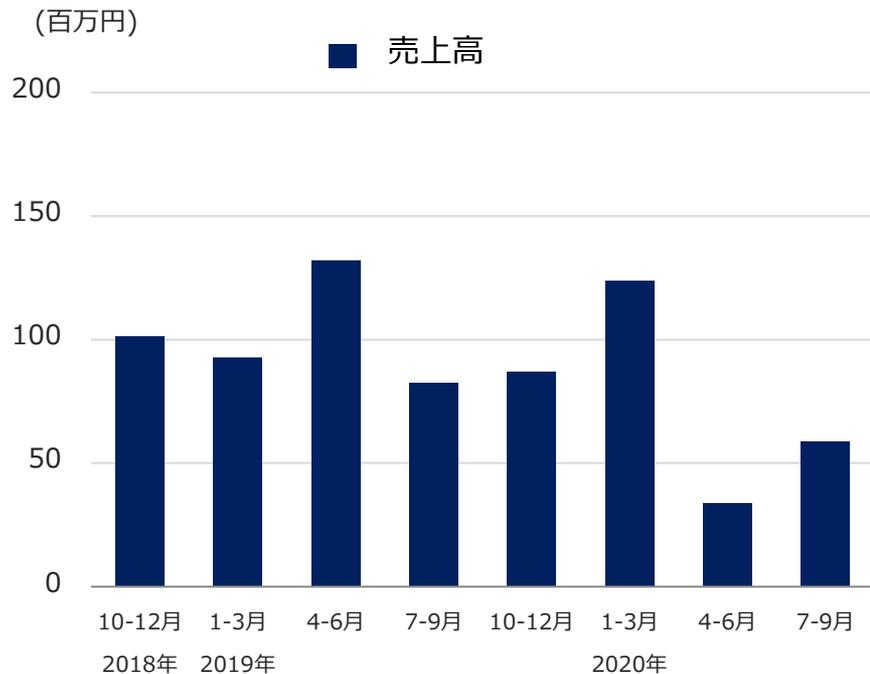


* 2019年7月1日付で、(株)オウチーノのメディア事業である「ヨムーノ」を会社分割し、新設会社である(株)くらしにくふうに承継 (同社はセグメント分類上「その他」区分に計上)

不動産関連事業 (SSI社) 業績推移



米国ハワイ州への渡航規制等が継続するも、現地取引の一部再開により赤字幅縮小





4. 金融関連事業



新コンセプト「毎日のお金も、一生のお金も、あなたらしく改善。」を設定、
個人のニーズに合わせて家計を改善する新機能や他社サービス連携を推進

- 従来の銀行・クレジットカードのみならず、ポイントサイトや保険の契約などサービス連携の範囲を拡充
- コロナ禍以降に購買データ分析事業のニーズが拡大、大手法人および官公庁との契約が増加
- 家計簿サービスの利用データを基に「Go To トラベル」の影響など社会情勢に合わせた分析を公開





業界最安水準の既存保険商品を、女性に特化してリブランディングすると共に、オンライン完結での訴求を目的にウェブサイトを更新

くふう少額短期保険

くふう少額短期保険

ライフステージからあなたに合った保険と保険料を選みましょう

- 20代女性 >
- 30代女性 >
- 40代女性 >
- 50代女性 >
- 夫婦 >

医療保険 女性のおんしん

女性特定の病気	通院
+	
女性特定手術	女性特定がん
特定のケガ	死亡

20歳～ 月払保険料合計 438円-

35歳～ 月払保険料合計 634円-

お支払い内容

主契約	
入院保険 ¹⁾	1日 3,000円
特約	
手術特約 ²⁾	3万・6万・12万円
特定傷害特約 ³⁾	5万円
がん診断特約	20万円

備えておきたい リスク3つ

乳がんや子宮頸癌など 女性特有の病気



- 女性の年齢やライフステージから自分に合った保険と保険料を選べる
- 必要な保障をクリックして選択、見積りから支払いまでスマートフォンで完結



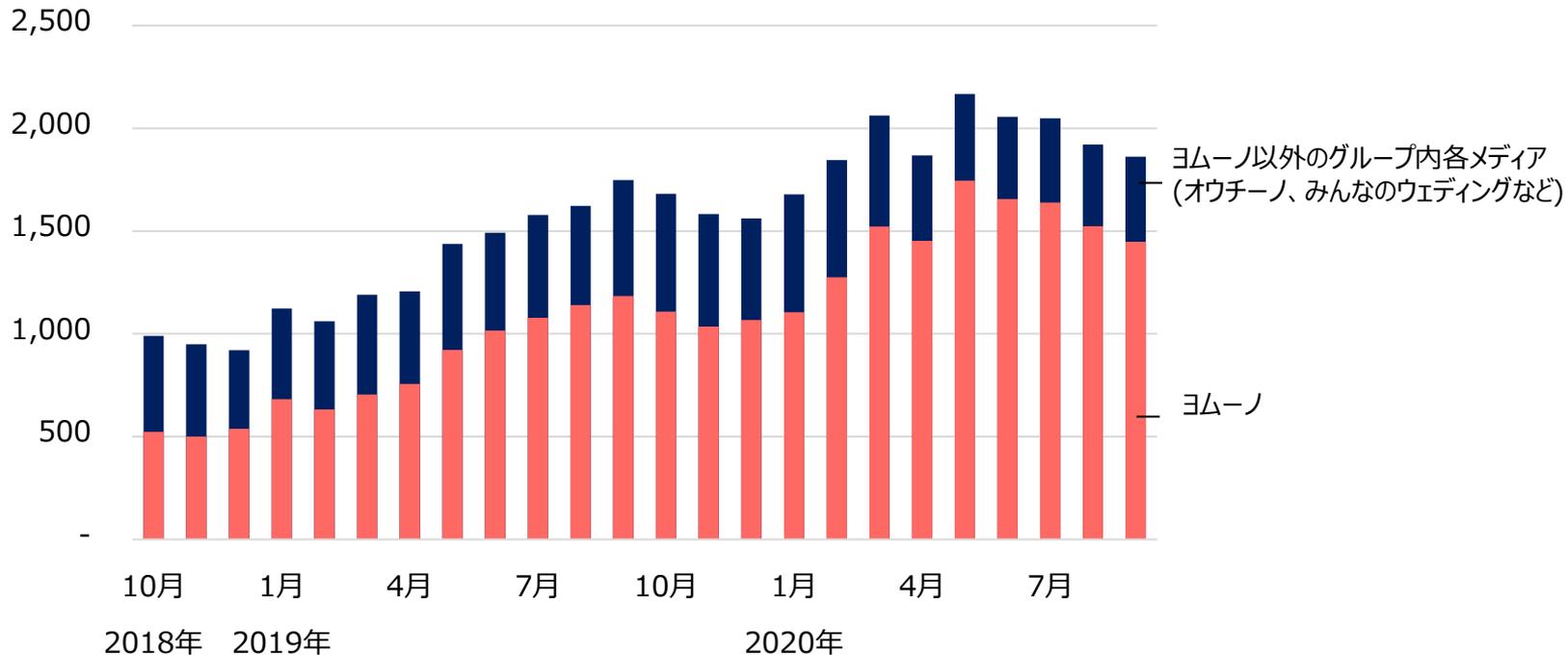
5. メディア関連事業

グループメディアの月間利用者数推移



くらし情報メディア「ヨムーノ」はコロナ特需が一服、次の成長メディアの開発へ

(万人)



* 「ヨムーノ」「みんなのウェディング」「オウチーノ」「Zaim (アプリ)」の利用者を対象に、ブラウザベースまたは端末ベースにより集計

くふうで生活を賢く・楽しく

=お問合せ=

経営管理部 IR担当

E-mail ir@kufu.co.jp

HP <https://kufu.co.jp>

